



平成30年4月19日

各 位

会 社 名 名鉄運輸株式会社

代 表 者 名 代表取締役社長

内 田 互

(コード番号 9077 名証第二部)

問 合 せ 先 常務取締役グループ管理本部長

榊原 勝則

TEL (052)935-5721

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、このたび、2018年度から2020年度を対象とする3ヵ年の名鉄運輸グループ中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、2015年度から2017年度を対象とした前中期経営計画において、「混載事業（コア事業）の拡大を図り、持続的に成長する企業グループを目指す」の経営方針のもと、基本戦略である「混載事業の強化」、「事業継続に向けた人材確保」、「ネットワークの維持強化」、「同業他社との連携強化」、「効果的な投資による企業インフラの強化」、「有利子負債の削減」、「関連会社統廃合による効率経営の実現」の7項目の各施策を推進し、日本通運株式会社との資本業務提携、信州名鉄運輸株式会社の連結子会社化、野田支店の新設、関連会社の統廃合などを実行いたしました。

新中期経営計画では、キャッチフレーズを「We're Koguma ～for the Best Quality～」、基本方針を、「安心と信頼のこぐま品質を提供する人材力・輸送サービス基盤を強化し、成長の礎にする」と決めました。

この基本方針に対し、「経営力」・「人材力」・「ネットワーク力」の3つを柱として取り組んでまいります。

概要につきましては、添付資料をご参照ください。

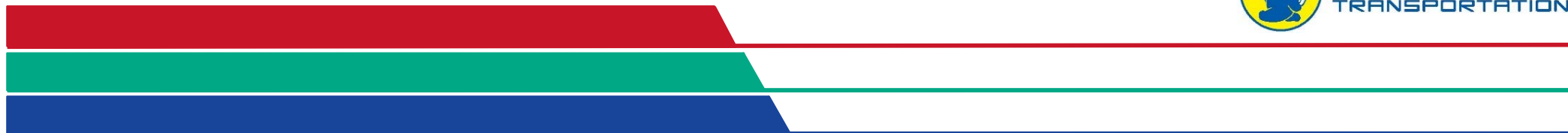
添付資料：「名鉄運輸グループ中期経営計画 2018-2020」

以 上

名鉄運輸グループ中期経営計画 2018-2020

名鉄運輸株式会社

平成30年4月19日



目次

1.	名鉄運輸グループの概要	2～3
2.	前中期経営計画（2015-2017）の振り返り	4～6
3.	10年後に目指す姿	7～9
4.	新中期経営計画（2018-2020）	10～25

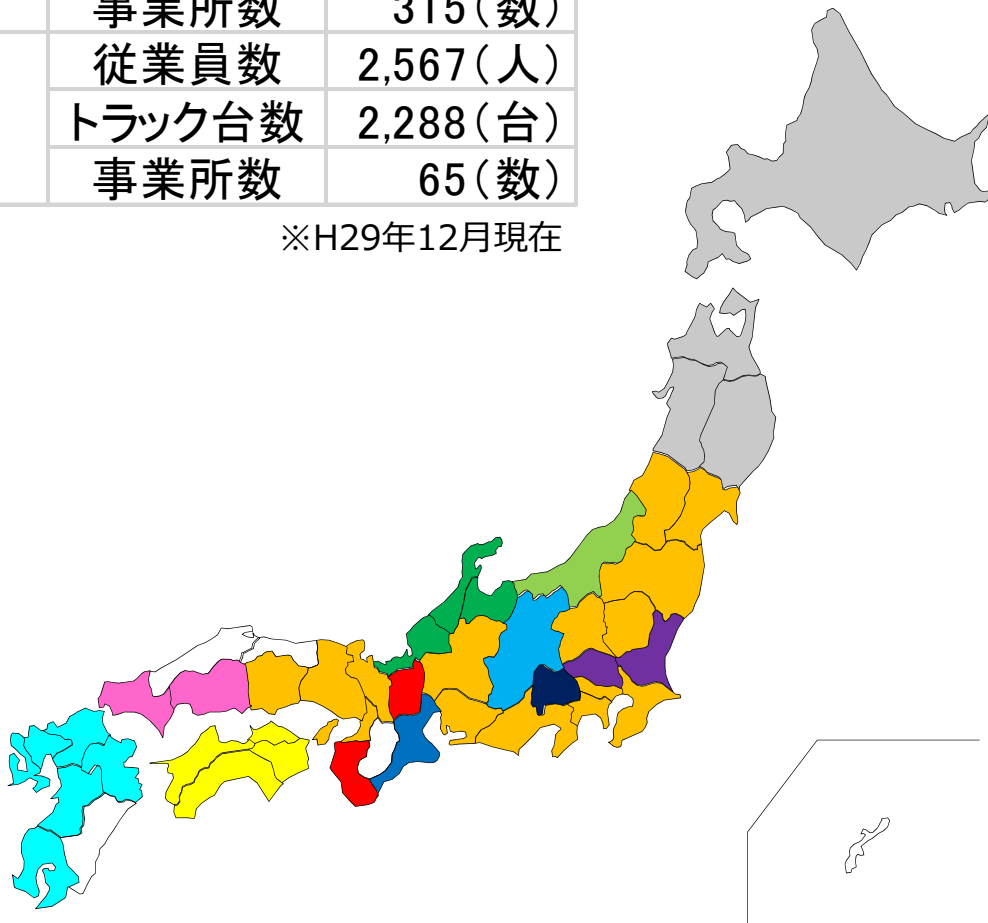
1. 名鉄運輸グループの概要

1. 名鉄運輸グループの概要

名鉄運輸グループの担当エリア

名鉄運輸グループ	従業員数	7,039(人)
	トラック台数	6,294(台)
	事業所数	315(数)
内) 名鉄運輸	従業員数	2,567(人)
	トラック台数	2,288(台)
	事業所数	65(数)

※H29年12月現在



名鉄運輸
北海道東北名鉄運輸
関東名鉄運輸
信州名鉄運輸
新潟名鉄運輸
山梨名鉄運輸
名鉄急配
北陸名鉄運輸
関西名鉄運輸
中国名鉄運輸
四国名鉄運輸
九州名鉄運輸
名鉄ゴールデン航空
中京通運

※奈良・鳥取・島根・宮崎・沖縄は協力会社

2. 前中期経営計画（2015-2017）の振り返り

2-1. 定性評価

経営方針、基本戦略にそって **着実に施策を推進**

<経営方針>

混載事業（コア事業）の拡大を図り、持続的に成長する企業グループを目指す

<基本戦略>

テーマ		取り組み
(1)	混載事業の強化	取扱い重量は継続的に増加し、増収に寄与。 運用コストに見合った適正運賃の収受交渉を強化。
(2)	事業継続に向けた人材確保	新規および中途採用の定着強化。 高卒新入社員の採用強化と育成。
(3)	ネットワークの維持強化	信州名鉄運輸を完全子会社化。 長距離運行のコンテナ輸送化を推進。
(4)	同業他社との連携強化	日通と資本業務提携。 施設共同利用などによって販売力、輸送力を強化。
(5)	効果的な投資による企業インフラの強化	千葉県野田市に支店を新設。 輸送管理システムの刷新による業務の効率化を推進。
(6)	有利子負債の削減	旧深川支店土地の売却等による保有資産の見直しを実施。
(7)	関連会社統廃合による効率経営の実現	北海道・東北地区、関東地区、関西地区の組織再編を実現。

2-2. 定量評価

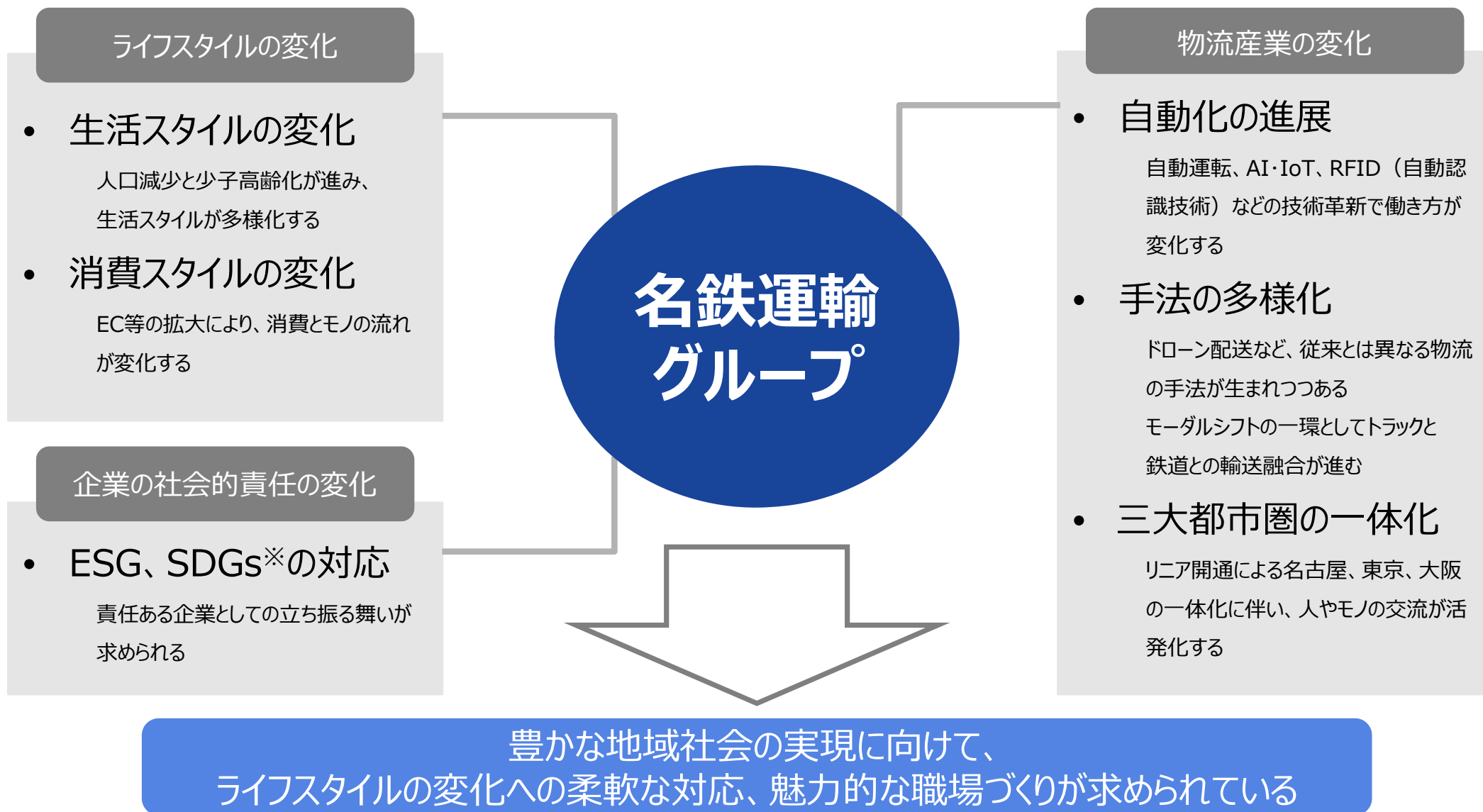
資本効率を維持しつつ、**大幅な増収増益**と**財務安全性の強化**を達成

<業績サマリー>

	2014年度 実績	2017年度 見通し	増減率
売上高	908億円	1,120億円	123%
営業利益	28億円	44億円	156%
売上高営業利益率	3.1%	4%	—
連結純有利子負債残高	341億円	300億円	88%
自己資本比率	17.6%	32.4%	—
ROA	2.3%	4.6%	—
ROE	13.7%	10.1%	—

3. 10年後に目指す姿

3-1. 10年後を見据えた外部環境認識



※ ESG : Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）の略称。投資意思決定における企業の重要な非財務情報。

※ SDGs : Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。2015年9月の国連総会で各国政府が採択した長期行動指針。

3-2. 10年後に目指す姿

私たち、名鉄運輸グループは

日本全国をカバーするネットワークを通じ、明るく元気な社員が、
最高品質（＝こぐま品質）の輸送サービスを提供し続けることにより、
地域のお客様に信頼され、なくてはならぬ存在となります。

「こぐま」でお預かりした商品は最後まで「こぐま品質」でお届けします。

こぐま品質とは

出荷主様にとって、荷受人様は大切なお客様です。「こぐま品質」とは出荷主様の商品に対する「思い」を、出荷主様に代わって大切なお客様である荷受人様にお届けすることです。

私たちが輸送しているのは、
荷物ではなく、**お客様の大切な商品**です。



4. 新中期経営計画 2018-2020

4-1. キャッチフレーズ

We're Koguma

～ for the Best Quality ～

「We're Koguma」には、どのような地域やサービスにおいても、
「We're Koguma」を合言葉として、
グループ一丸となって、最高品質のロジスティクスサービスをお客様にお届けしたい
という思いが込められています。

また、名鉄運輸グループとともに、豊かな地域社会を実現していく
お客様、パートナー様、地域の皆様も、
「We're Koguma」の一員になっていただきたいという願いが込められています。

4-2. 基本方針

安心と信頼の **こぐま品質** を提供する人材力・輸送サービス基盤を強化し、成長の礎とする

(1) 経営力

- (1-1) 安心安全の追求
- (1-2) グループ総合力の発揮
- (1-3) 「こぐまブランド」の浸透



(2) 人材力

- (2-1) 人材スキルの向上
- (2-2) 魅力的な職場環境づくり
- (2-3) 人材獲得力の強化

安心と信頼の **こぐま品質** を提供する
人材力・輸送サービス基盤の強化

(3) ネットワーク力

- (3-1) 地域拠点の強化
- (3-2) 輸送ネットワークの最適化
- (3-3) 協力会社、外部との連携

グループ一丸となった **安心安全の追求**

事故三悪（運転事故、商品事故、労災事故）撲滅のため、
名鉄運輸グループ一丸となって、安心安全への取り組みを推進します。

グループ事故三悪撲滅委員会の設置



- グループ事故三悪撲滅委員会を設置し、グループ全体で安全品質の維持強化に取り組みます。
- お客様からお預かりした商品は、最後まで「こぐま品質」でお届けします。

衝突軽減ブレーキ車への代替促進



- ドライバーの教育に加え、最新技術を積極導入し、事故防止活動を推進します。

免許証リーダー付きアル コールチェッカー



指差呼称のグループ展開



各社の強みを結集した **グループ総合力の発揮**

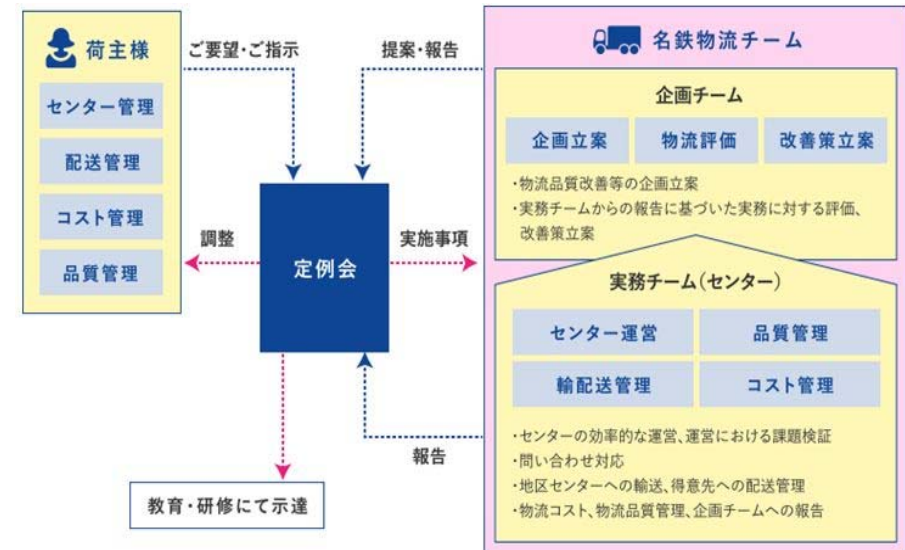
変化する出荷主様のニーズに合致したソリューションを提供するため、
当社グループの潜在能力を最大限に発揮できる組織運営体制を整えます。

グループ営業体制の強化



- 東京営業部に名鉄運輸グループの精鋭営業担当者を集結しグループ全体のリソースを活用した戦略的なご提案、新規のお客様へのアプローチを行います。
- 名鉄運輸東京・名古屋・大阪支社には分室を設け、きめ細やかな営業体制を構築します。

3PL 流通事業の推進



- 全国にネットワークをもつサードパーティ・ロジスティクス（3PL）事業者として、お客様に最適なエリア・物流体制を提供します。
- お客様との継続的な打ち合わせを通じて、課題の共有と解決を双方で行ってまいります。

「こぐまブランド」の浸透 によるグループ一体感の醸成

名鉄運輸グループの全従業員が、「こぐまブランド」のもとに刺激を与え合いながら、明るく元気で幸せな人生を送ることが、こぐま品質提供の土台になります。

グループ企業プロモーションビデオの作成



- プロモーションビデオでは、従業員やお客様の声、提携先の当社に対する思いなどを中心に、従業員やそのご家族、株主の皆様などに少しでも当社の雰囲気伝わる様に作成しました。

グループ店所長の会議・研修



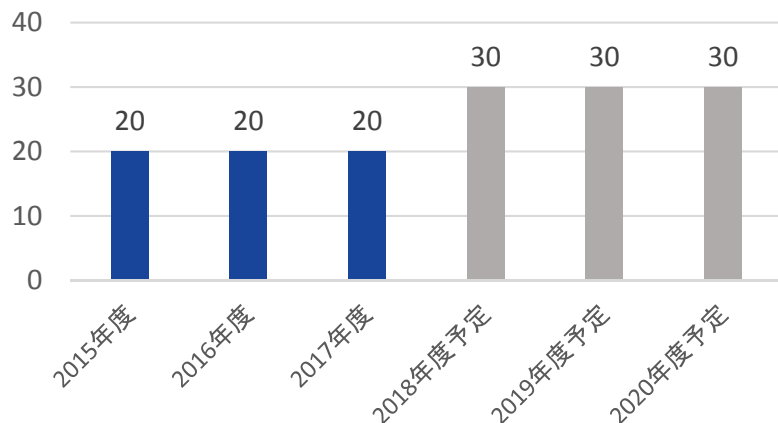
- 「こぐま品質」を共有し、グループ一体感と、同じグループで働く人と人のつながりを醸成する場として活用しています。

こぐま品質を提供するための 人材スキルの向上

輸送の安全・品質追求には決定打も最終ゴールもありません。
私たち名鉄運輸グループは、最高品質を提供するため、人材育成に不断の取組みを続けます。

大型免許取得補助制度

制度利用の大型免許取得者数(人)

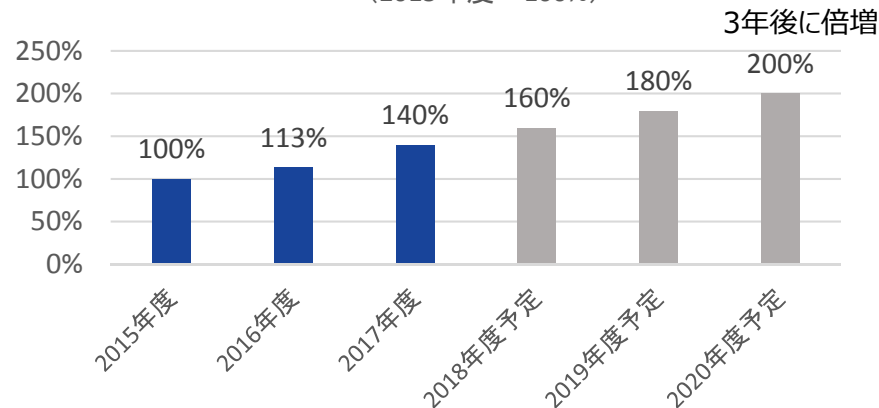


- グループ全体の輸送サービス力の強化、将来の大型ドライバーの高齢化・定年退職への早期対応の一環として、ドライバーの大型免許取得を推進しています。

物流技術管理士資格取得補助制度

物流技術管理士資格取得補助制度

(2015年度=100%)



- 日々進化を続ける物流現場において、お客様に最適な提案をするためには、物流に関する高度な知識とノウハウが必要です。
- 物流・ロジスティクス全領域にわたる専門知識、マネジメント技術の認定資格である物流技術管理士資格の取得を推進し、提案力のさらなる強化を図ります。

フォークリフト研修



安全指導員の添乗指導



その他、研修制度多数

従業員がイキイキと働ける 魅力的な職場環境づくり

女性やシニアを含むすべての従業員が楽しくやりがいを持って
仕事ができる職場環境づくりを推進します。

働き方向上委員会



- グループを含む全国の職場から参加する働き方向上委員会を設置し、定期的な状況把握・意見交換により持続的な職場環境の向上に取り組めます。

野球部の設置（2018年4月予定）



- 名古屋鉄道グループの野球大会参加に加え、地域の大会への参加も予定しています。
- グループのスポーツ大会には、他競技でも積極的に参加しています。

女性の働きやすい環境整備



女性用共有スペースのリニューアル

- 働きやすい職場環境づくりとして女性従業員の声を反映し、共有スペースをリニューアルしました。
- 職場の環境整備は今後も進めます。

従業員がイキイキと働ける 魅力的な職場環境づくり

従業員の安全・健康に配慮し、ご家族の皆様安心して頂ける職場環境づくりを推進します。

最新安全装置車両への代替促進



- 最新安全装置を装備した車両への代替を推進していきます。ドライバーの安全確保への投資を優先的に実施します。
- 最新の安全装置が装備された車両を毎年500台導入していきます。

首都圏社員寮の新築 (2019年3月入居予定)



- 首都圏の交通アクセスの良い場所に、社員寮を新築します。
- プライベート空間の充実を図ります。

従業員の健康管理の充実



血圧測定

A E Dの設置

- 乗車前に、必ず血圧測定を行い、従業員の健康状態をチェックします。
- 定期健康診断のアフターフォローを実施します。
- 引続き、営業所にA E Dの設置を進めます。

トラックの主な最新の安全装置

- ・ドライバーモニター
- ・衝突軽減ブレーキ
- ・車線逸脱警報
- ・巻き込み防止警報 等々

人材獲得力の強化による中長期の成長基盤の盤石化

こぐま品質を維持向上し、提供し続けるため、人材獲得力を強化します。

新卒採用



- 全国の高校を訪問し、全国ネットを活かした地元での採用を強化しています。
- グループのネットワークを利用して、都会で卒業した学生に、ふるさとでも働ける環境づくりを推進します。

中途採用



- 就職希望者紹介制度により、採用の幅を広げます。
- 働き方パターンに則した仕事の創出等、様々なアイデアを具現化します。

最新設備による 地域拠点の強化

老朽化した施設や遊休施設を中心に、リニューアル投資を進めていきます。
物流産業の変化に対応できる、強い地域拠点の整備を進めていきます。

最適な拠点配置

関東エリアにおける拠点配置の事例



- ・ 深川支店を廃止し新砂支店と野田支店を新拠点として展開（2017年3月完了）。

投資計画



- ・ 老朽化した営業所を中心に随時移転、建て直しなどの投資を行います。
- ・ 倉庫併設や将来のEV化や非常時の電源確保を見込み、太陽光パネルの設置を検討するなど付加価値を創造する移転を計画します。



- ・ 遊休資産は土地貸しや流通倉庫化など有効活用を積極的に進めます。

新ハンディ端末への切り替え



- ・ アンドロイドOS搭載のため、アプリ開発の自由度が高くなります。
- ・ アプリの開発により、更なる業務改善や品質改善を進めます。

社会の変化を支える 輸送ネットワークの最適化

消費とモノの流れの変化、地域社会を支えるため
名鉄運輸グループ各社が提供する輸送サービスネットワークの最適化を進めます。

スワップボディ車による作業分離



スワップボディ車 ヘッド部+コンテナ部



スワップボディ車 コンテナ部

- コンテナを切り離すことで、荷役分離が可能となり、更には手待ち時間削減も可能となります。
- 脱着工程は約20分、シニアドライバー、女性ドライバーも扱いやすい為、人材の確保にも有効と考えます。

長距離輸送のモーダルシフト、乗継便へ



協力会社、外部との連携による全国幹線ネットワーク網の強化

共同施設利用やシステム統合などを通じて、日本通運との提携効果のさらなる深化を進めます。
また、協力会社を含む外部との提携を積極的に検討します。

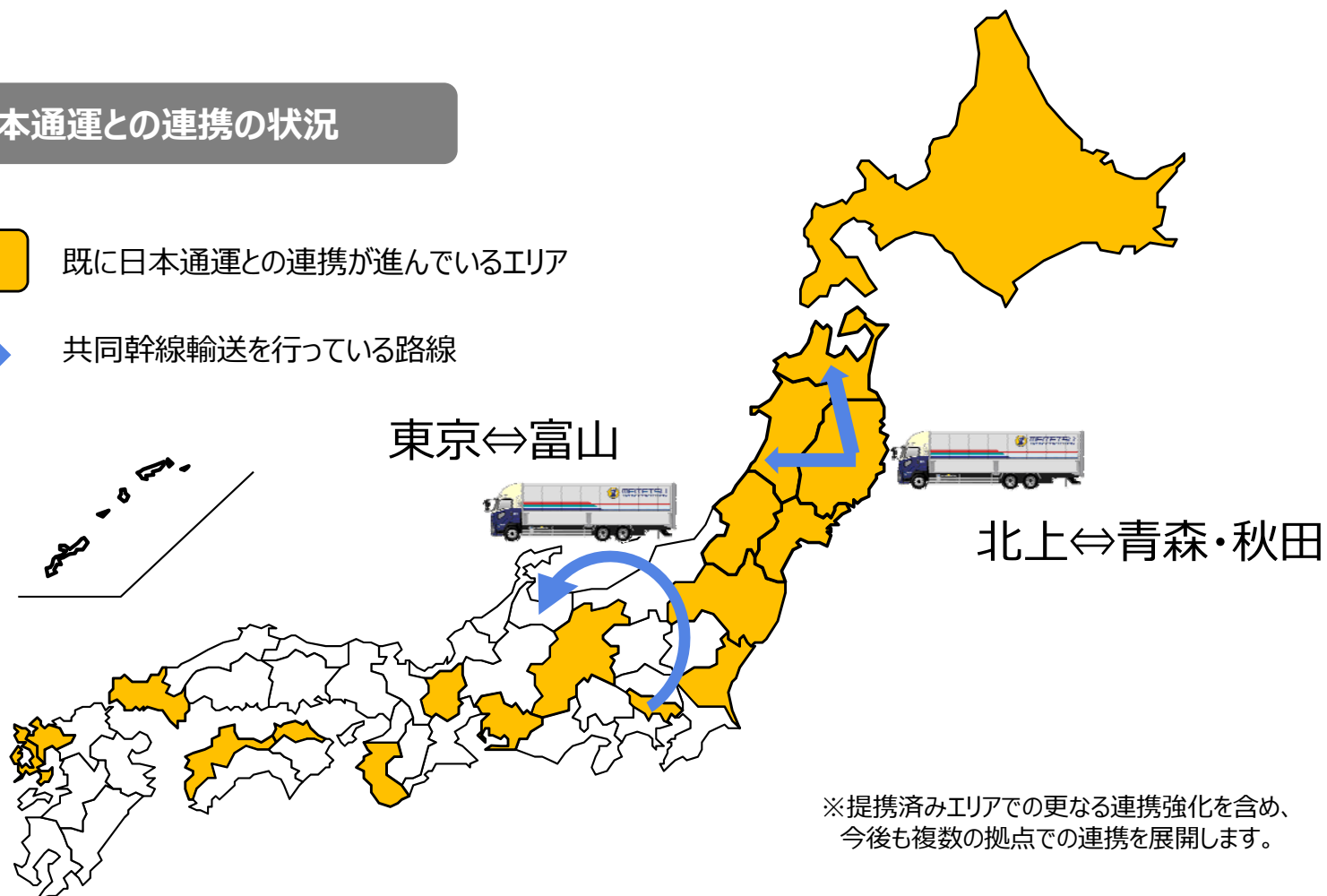
日本通運との連携の状況



既に日本通運との連携が進んでいるエリア



共同幹線輸送を行っている路線



※提携済みエリアでの更なる連携強化を含め、
今後も複数の拠点での連携を展開します。

4-3. 企業としての社会的課題への取り組み

豊かで持続可能な地域社会の実現に貢献

地域との共生・共栄のため、グループ全体で
環境負荷の軽減に取り組み、地域社会における活動を推進します

環境負荷の軽減



照明のLED化



フォークリフトのEV化
トラックのEV化

地域社会との積極的な交流



松本マラソンで参加者の衣類等をゴールまで輸送



エコドライブ研修



ターミナル屋上に太陽光パネルを設置



地域の清掃活動に
積極的に参加



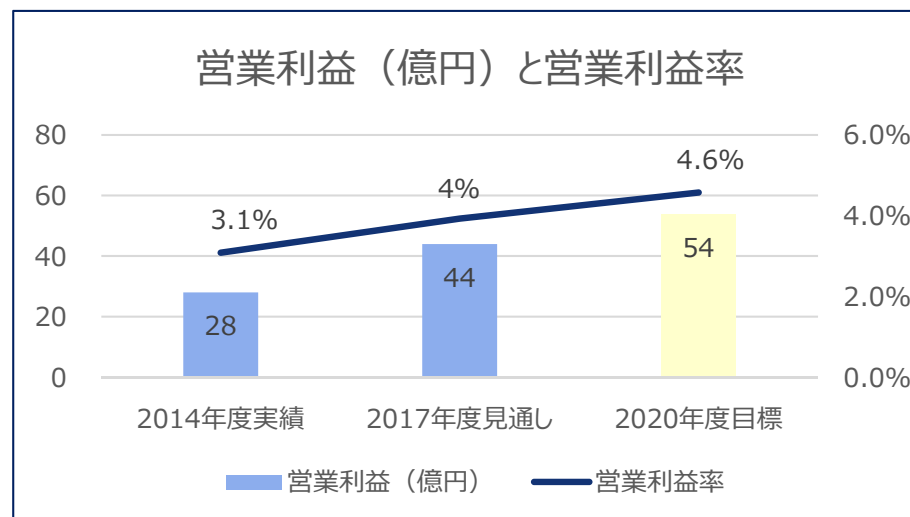
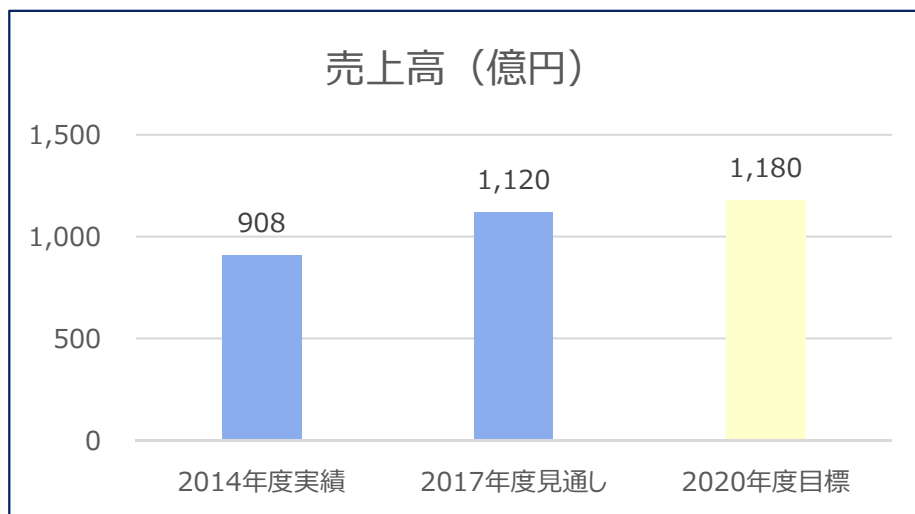
中学生の職場体験

4-4. 財務目標

成長投資 を拡大しつつ、**増収増益** を確保

(参考)

	2017年度 見通し	2020年度 目標
売上高	1,120億円	1,180億円
営業利益	44億円	54億円
EBITDA	90億円	104億円
ROA	4.6%	5.4%
ROE	10.1%	9.1%



We're Koguma

～ for the Best Quality ～



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承ください。